

ストレスコーピングで

快適に働く



1

精神的・肉体的に負担となるストレスをいかにして処理したらよいのでしょうか。

その対策が「ストレスコーピング」です。ストレスの処理というと、気分転換、楽しむといった「ストレス解消」が想像されることが多いです。

なることがないか考え直してみることです。例えば、自分では嫌だと思っていた仕事を別の角度から考え直してみると自分のためになると分かる、そうするとその仕事が嫌なものと感じなくなるストレスではなくなります。

友人、あるいは関係機関や専門家に相談したり情報を集めたりする。あるいは、一般的に気分転換、ストレス解消と呼ばれるものであります。分類すると以下の3種類です。

④ 「感情の処理」スト

① Rest 休息やエネ

リギーの充電を目的とする

ストレス状況から生じる自分の気持ちを誰かに話す、聴い

るものです。特に重要なのは睡眠です。精神的に疲れていても一晩ぐっすり眠った

ジする気持ちがよみがえる

5) 「ストレス解消行動」

⑤ Recreational

活動の回復です。そのためには「楽しむ」ことが大事です。ストレスになっている原因そのものが変わらなければなりませんが、活動が戻ることで、ストレス

ストレスコーピングのいろいろ

2) 「意味づけの再検証」

ストレスとは自分自身にとってネガティブな刺激といふの方法

1) 「問題の解決を図る」

ストレスの解決のために家族や

3) 「相談する」自分の

ストレスと自分自身にとってもどう、といったことが

ら気持ちの発散を行うこと

4) 「リラクゼーション」

ストレスへの抵抗力、チャレン

ジする気持ちがよみがえる

5) 「リラクゼーション」

これらのストレスへの対

処方法の中で重要な思われ

ある人の関係が悪くなつて、自分にとってプラスにならない

ストレスの処理における五つの方法

ストレスは自分自身にとっても少くありません。

ストレスの緩和と精神の緊張緩和につながる行動を

緊張緩和につながる行動を

精神科専門医 認定産業医

渡辺 洋一郎

88年に渡辺クリニックを開設。その後、厚生労働省「職場におけるメンタルヘルス対策のあり方検討委員会」委員、「ストレスチェック制度策定関連委員会」委員などを歴任。現在、日本精神科産業医協会共同代表、日本CHRコンサルティング代表。「実践!ストレスマネージメント」(生産性労働情報センター)ほか著書多数。

(わたなべ よういちろう) 川崎医科大学卒業。19

身体の緊張緩和と精神の緊張緩和につながる行動を

緊張緩和につながる行動を

緊張緩和につながる行動を